

製品名: mAChR M1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13543**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRM1
別名	CHRM1; Muscarinic acetylcholine receptor M1
遺伝子 ID	1128.0
SwissProt ID	P11229
免疫原	抗血清はヒト CHRM1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 295-344

背景

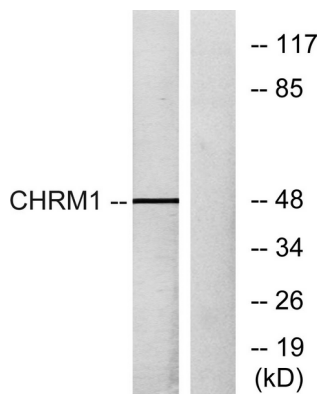
ムスカリン性コリン受容体は、G タンパク質共役受容体のより大きなファミリーに属します。これらの受容体の機能的多様性は、アセチルコリンの結合によって定義され、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、カリウムチャネルの調節といった細胞

応答を含みます。ムスカリン性受容体は、中枢神経系および末梢神経系におけるアセチルコリンの多くの作用に影響を与えます。ムスカリン性コリン受容体 1 は、迷走神経誘発性気管支収縮の調節と消化管からの酸分泌に関与しています。この受容体をコードする遺伝子は 11q13 に局在しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月] 機能: ムスカリン性アセチルコリン受容体は、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、G タンパク質の作用を介したカリウムチャネルの調節など、様々な細胞応答を媒介します。主な伝達効果は Pi のターンオーバーです。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。サブユニット:GPRASP2 と相互作用します。、

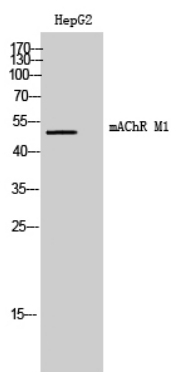
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;アクチンと細胞骨格を調節します。

画像データ



CHR M1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



mAChR M1 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析